



2022年11月10日

各 位

会社名 日本製麻株式会社  
 代表者名 取締役社長 中本 広太郎  
 (コード番号 3306 東証スタンダード)  
 問合せ先 取締役経理部長 中川 昭人  
 (TEL. 078-332-8251)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、2022年8月10日に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

## 記

2023年3月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(2022年4月1日～2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,745	46	52	32	8.73
今回発表予想(B)	1,825	76	87	51	13.96
増減額(B-A)	80	30	35	19	—
増減率(%)	4.6	65.2	67.3	59.4	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	1,590	21	28	17	4.77

2023年3月期通期連結業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	3,256	91	87	60	16.37
今回発表予想(B)	3,589	177	188	111	30.28
増減額(B-A)	333	86	101	51	—
増減率(%)	10.2	94.5	116.1	85.0	—
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	3,151	57	74	48	13.18

2023年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(2022年4月1日～2022年9月30日)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,226	27	21	5.73
今回発表予想(B)	1,202	71	51	13.97
増減額(B-A)	△24	44	30	—
増減率(%)	△2.0	163.0	142.9	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	1,088	27	16	4.59

## 2023年3月期通期個別業績予想数値の修正(2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,415	70	57	15.55
今回発表予想(B)	2,308	118	92	25.09
増減額(B - A)	△107	48	35	—
増減率(%)	△4.4	68.6	61.4	—
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	2,154	59	43	11.74

## 修正の理由

## (1)連結業績

2023年3月期第2四半期連結業績につきましては、マット事業の海外連結子会社が販売数量を伸ばし、売上高は前回発表予想を上回る見込みです。また、個別業績予想の影響により営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましても上方修正いたします。

通期個別業績予想の修正に加え、連結子会社の下期計画を見直した結果、通期連結業績予想につきましても修正いたします。

## (2)個別業績

2023年3月期第2四半期個別業績につきましては、マット事業の国内販売が自動車メーカー減産の影響を受けたため売上高は前回発表を下回る見込みです。産業資材事業は黄麻商品の主だった受注が上期に集中した結果、増益の見込みであり、食品事業は社会経済活動の正常化に向けた動きに伴い業務用のパスタ、レトルト製品がともに順調に推移したため増益の見込みです。この影響を受け経常利益、四半期純利益も前回発表予想を上回る見込みです。

通期個別業績予想につきましては、上期実績を踏まえて、マット事業は同様に推移し、産業資材事業においては季節的要因により、また、上期に受注が集中したため下期業績は減収減益を見込んでおります。食品事業はパスタ部門において製造加工の受託を予定しており増益を見込んでおります。この影響により計画の見直しを行った結果、通期個別業績予想を修正いたします。

(注)上記の業績予想は、本資料の作成時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により、本予想数値と異なる可能性があります。

以上